

近現代史研究会

テ　　マ	近現代史を学び、現代政治への示唆を得る。
概　　要	現代の政治・社会が、政党政治の混迷、国際政治の緊迫化、ポピュリズム的な機運の台頭等、昭和戦前期と共通性が多く、昭和史を中心とする近現代史に関する精細な研究を通じて今後の対応が見えてくるのではという認識の下、日本近代史の第一人者である筒井清忠先生を迎え、超党派の政治家等と共に勉強を重ねる。
期　　間	2017年5月15日～2026年3月31日
開催年月日	2017年 12月21日 「非命の維新者」と「戊辰戦争の敗者」： 明治維新150年を迎えて 2018年 3月7日 乃木希典： 旅順戦・殉死・「昭和軍閥」 5月15日 堀悌吉—海軍軍縮派の悲劇 6月6日 昭和陸軍—組織・派閥・人事 7月4日 経済学者たちの日米開戦 (牧野邦昭摂南大学経済学部 准教授) 8月2日 映画『あゝ海軍』の背景・実像・影響 10月18日 近衛文麿伝① 誕生から内務省まで 新渡戸稲造・西田幾多郎・教養主義 12月18日 近衛文麿伝② 付・近現代日本の皇室と政治

開催年月日	2019 年
1 月 24 日	近衛文麿伝③ 「左傾化する貴族」とアメリカ型市民主義
2 月 13 日	二・二六事件
3 月 13 日	近衛文麿伝④ 貴族院と護憲三派内閣～浜口内閣
4 月 10 日	近衛文麿伝⑤ 満州事変、五・一五事件、デモクラシーの逆説
5 月 9 日	近衛文麿伝⑥ 訪米・純日本式教育・家庭デモクラシー
6 月 6 日	第1回普選・田中義一内閣期を通して見るポピュリズムと議会政治
9 月 25 日	『人間魚雷 あゝ回天特別攻撃隊』を観る
11 月 6 日	二・二六事件① 一昭和維新運動と陸軍の派閥対立
	2020 年
1 月 24 日	二・二六事件② 一クーデター計画から事件の展開まで
2 月 13 日	「映画『銃殺』に見る二・二六事件」
11 月 27 日	玉砕・特攻戦と太平洋戦争終結 一戦争・外交と国家意志
12 月 22 日	近衛文麿伝⑦ 首相就任前の3年間（1934～37）

開催年月日	2021 年	
	2 月 2 日	両大戦間期日本政治思想社会史 —アナキズムから革新官僚まで
	3 月 5 日	二・二六事件③ —発生直後の動き
	4 月 5 日	中谷武世伝 —北一輝から小池百合子まで (付；憲法9条発案者は誰か)
	6 月 16 日	第一次世界大戦ブームと『貧乏物語』
	7 月 28 日	民謡と新民謡運動—近代日本における文化的 ローカリズムの再生
	2022 年	
	1 月 24 日	二・二六事件東京陸軍軍法会議録 解題
	3 月 2 日	太平洋戦争への道と現代—歴史的プロセスと 問題点
	4 月 19 日	近代日本政治における黒幕・策士 —橋川文三 の小泉三申論
	6 月 14 日	ソ連フィンランド戦争—独ソ不可侵条約前後 から
	11 月 25 日	近代日本暗殺史 (1) 明治暗殺史
	2023 年	
	2 月 6 日	近代日本暗殺史 (2) 大正暗殺史
	4 月 12 日	近代日本暗殺史 (3) 朝日平吾事件 (安田善次 郎暗殺事件)
	6 月 1 日	近代日本暗殺史 (4) 原敬首相暗殺事件
	7 月 26 日	『近代日本暗殺史』総論
	10 月 24 日	甘粕事件 (大杉栄・伊藤野枝暗殺事件)

開催年月日	2024 年
	1 月 23 日 二・二六事件と青年将校
	2025 年
	3 月 9 日 コアメンバーによる研究会

なお、本研究会の成果として『近代日本暗殺史』を PHP 研究所から 2023 年 7 月に発刊した。現代の日本政治にも大きな示唆がある書籍として、各方面から評価をいただいている。

メンバー

亀井 善太郎（主査）

PHP総研 主席研究員

立教大学大学院社会デザイン研究科 特任教授

三原 岳（副査）

株式会社ニッセイ基礎研究所 上席研究員

筒井 清忠

帝京大学 学術顧問

林 芳正

衆議院議員

松本 剛明

衆議院議員

古川 元久

衆議院議員

越智 隆雄

衆議院議員

福田 達夫

衆議院議員

松井 孝治

京都市長

平泉 信之

一般財団法人鹿島平和研究所 会長

株式会社アバンアソシエイツ 顧問

メンバー

小林 創

一般財団法人鹿島平和研究所 理事

ジェミニストラテジーグループ株式会社 パートナー

松本 道雄

一般財団法人鹿島平和研究所 理事

株式会社KJR マネジメント

小黒 一正

一般財団法人鹿島平和研究所 理事

法政大学 教授

秋山 昌廣

一般財団法人鹿島平和研究所 顧問

秋山アソシエイツ 代表

元 防衛事務次官